

以前メールにてお知らせしました通り、JP1000ソフトのJPシートに新しく、合格数をチェックする項目が追加されました。

この項目を使うと、合格数が多い日にサイン（縦バー）を表示させるといったことが可能となり、今までにくらべ、より売買ポイントが分かりやすくなりました。

今回は、この項目を用いた簡単な手法を解説します。

使用するソフトはJP1000です。

合格数検索をする

JPシート日足801番から811番には、あらかじめ逆張りシートが入っています。最初の手順として、上記シートに合格した銘柄数をカウントします。ここが重要で、この作業をしないと、先へは進めません。

合格数が多い日にサインを出させるなら、まず合格数検索です。

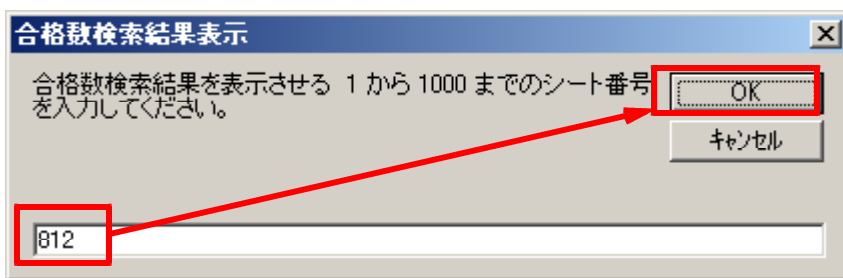
以下のように設定します。

ここでセットした内容の意味は、225銘柄の内、801番から811番に合格した銘柄数を数え保存し、かつそれら全ての合格数を812ファイルへ保存するという意味になります。

ここで使用する番号、801～812は、それぞれ保存されるファイル801～812に対応しています。

JPシートと数を保存するファイルは別物です。合格数がJPシートの812番へ書き込まれるわけではありません。

合格数を表示させる
チャートから合格数を表示させます。まず、日経平均日足チャートを表示。
「機能」 - 「JP分析シート合格数」 - 「合格数表示」をクリックし812番を表示



以下のように表示されます。



今までは、この画面で合格数が多い日を目でみて判断していました。

今回追加したシートの項目を使うことによって、チャート上にサイン（縦線）を表示させることが可能になりました。

使用するシート

このシートを使います。例．700番を使用。

JPシート番号に「812」

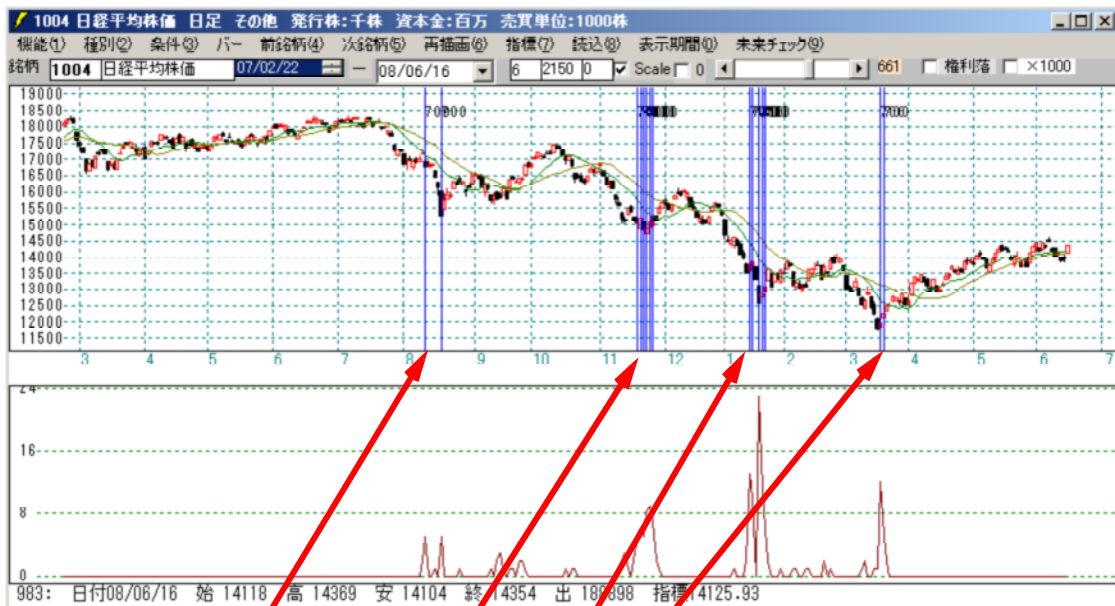
JPシート合格個数以上に「5」

と入力します。

サインが表示されるか、チェックしてみましょう。

チェック

「条件」 - 「チェック」、上記のシート番号、700番を入力します。



合格数が5銘柄以上の日にサインが表示されました。

次に日経平均の買いサインと組み合わせて使ってみます。

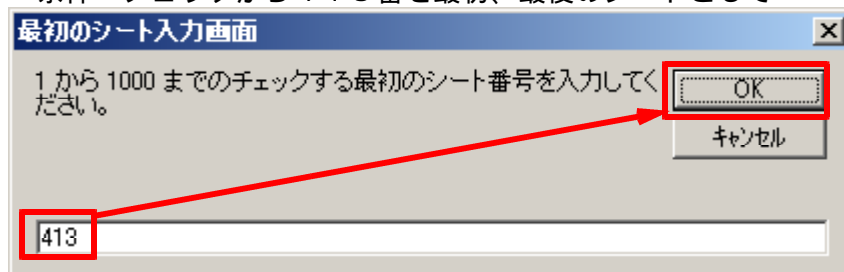
シートの組み合わせ

4 1 3 番はあらかじめ日経平均の買いサインが入っています。

内容：日経平均買いサイン - 1 3 - 図解 J P 法 (6 7) 2 0 0 5 年 0 2 月 会 報

この 4 1 3 番シートのみをチェックした場合は以下の表示となります。

条件 - チェックから 4 1 3 番を最初、最後のシートとして



このように表示されます。



続けて、413番と「812番の合格数が5銘柄以上」という組み合わせたシートを作成します。

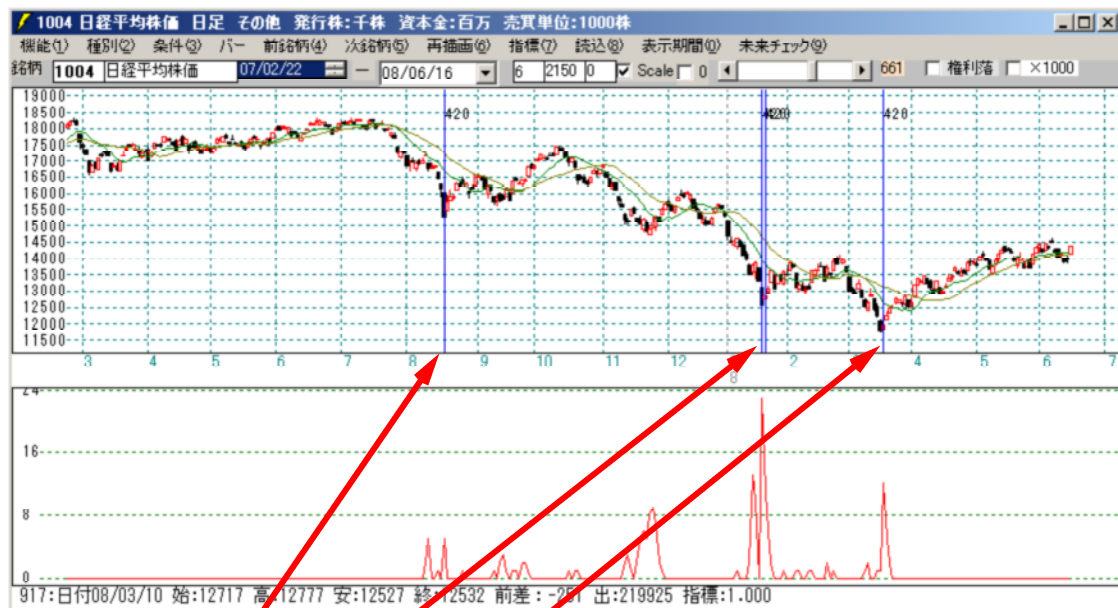
それは以下のシートとなります。 例. 413番を420番へ保存

413番の内容

項目	値	項目	値	項目	値	項目	値	項目	値
短期弾性値	以上	短弾	向き	最高値	周期	出来高比率	以下	JPシート合格個数	以上
短期弾性値	以下	中弾	向き	最高値/安値	以上	当日終値	以上	JPシート番号	812
中期弾性値	以上	長弾	向き	最高値/安値	以下	当日終値	以下		
中期弾性値	以下	MA	向き	最安値	周期	何日前の条件とするか			
長期弾性値	以上	短期M	向き	最安値/高値	以上	貸借倍率	XX連前		
長期弾性値	以下	中期M	向き	最安値/高値	以下	貸借倍率	以上		
MAV指標	以上	生短弾	向き	長コスト/前日安値	以上	貸借倍率	以下		
MAV指標	以下	生中弾	向き	長コスト/前日安値	以下	最安値周期			
短期M指標	以上	生長弾	向き	長コスト/前日高値	以上	安値/最安値	以上		
短期M指標	以下	短コスト	向き	長コスト/前日高値	以下	安値/最安値	以下		
中期M指標	以上	長コスト	向き	生短弾/短弾	位置	日柄	以上		
中期M指標	以下	短/長コスト	位置	終値/高値	以上	日柄	以下		
生短弾性値	以上	短コスト上/下揃	ナ	終値/高値	以下	最高値周期			
生短弾性値	以下	長コスト上/下揃	ナ	終値/安値	以上	高値/最高値	以上		
生中弾性値	以上	短長DO後日柄	以上	終値/安値	以下	高値/最高値	以下		
生中弾性値	以下	短長DO後日柄	以下	新値	周期	日柄	以上		
生長弾性値	以上	短長GO後日柄	以上	安値更新本数	以上	日柄	以下		
生長弾性値	以下	短長GO後日柄	以下	安値更新本数	以下	騰落レシオ	周期		
最安値	周期	短弾/中弾	位置	高値更新本数	以上	以上			
最安値比率	以上	中弾/長弾	位置	高値更新本数	以下	以下			
最安値比率	以下	短弾/長弾	位置	足取り/5本設定		向き			
最安値日柄	以上	陽線/陰線?		ハイ/ローバンド	周期	前日	以上		
最安値日柄	以下	高値切り上/下がり		ハイ/ローバンド	向き	前日	以下		
最高値	周期	安値切り上/下がり		短中M間カイリ	以下	50V加重移動平	向き		
最高値比率	以上	RJ指数	以上	出来高水準	周期	短/50	位置		
最高値比率	以下	RJ指数	以下	出来高水準	以上	長/50	位置		
最高値日柄	以上	RJ指数	向き	短中M間カイリ	以上	連続安値更新本数	以上		
最高値日柄	以下	最高値/最安値	周期	MACD(4-20)	向き	連続安値更新本数	以下		
出来高倍率	周期	最高値/最安値	以上	MACD(5-20)	向き	連続高値更新本数	以上		
出来高倍率	以上	最高値/最安値	以下	短M/中M	位置	連続高値更新本数	以下		
出来高倍率	以下	最安値/最高値	周期	生中弾/中弾	位置	陽線/陰線			
最大出来高	周期	最安値/最高値	以上	生長弾/長弾	位置	50コスト上/下揃	ナ		
最大出来高か?		最安値/最高値	以下	出来高比率	以上	JPシート番号	812		

合格数を付加した。

このシート、420番をチェックしてみましょう。



このように表示されると思います。

検証

それでは、この組み合わせたシート、420番でサインが表示されているときのみ、個別銘柄の検証をした場合、どうなるのでしょうか？以下のように設定します。

個別の条件

大局、日経平均の条件

検証方法はどうする？
 OR検証 AND検証
 OR検証、1つのシートに合格した場合は次の日

検証結果に採用する株価(権利落ち)
 修正前 修正後

大局条件の設定
 設定しない 設定内容
 設定する 基準コード 1004 シート 420 番～420 番まで

「合格数検索」結果の設定
 設定しない
 設定する

検証結果

検証期間	2004/09/01	～	2008/06/16	建玉期間	40	閉じる	印刷
シート番号	801	～	811	まで			白
30%以上上昇の件数	21	件	30%以上上昇の確率	41.18	%		
20%以上上昇の件数	9	件	20%以上上昇の確率	17.65	%		
10%以上上昇の件数	16	件	10%以上上昇の確率	31.37	%		
ダメの件数	5	件	ダメの確率	9.80	%		
30%上昇に要した日数平均	29.43	日	30%以上の平均上昇率	54.83	%		
20%上昇に要した日数平均	24.00	日	20%以上の平均上昇率	24.62	%		
10%上昇に要した日数平均	15.63	日	10%以上の平均上昇率	14.85	%		
			ダメの平均上昇率	7.00	%		
			全体平均上昇率	32.27	%		

ダメの確率が1割ほどで、「ここぞ」というときの買い場となりました。

このように「JP1000」ソフトには、「JP法ソフトのさらに上をいく項目が備わっております。JP法ソフトは期間が「300」ですが、こちらは月足以外「1000」期間データを保有しており、長期にわたるシミュレーションに有効です。

色々検証をしてみたい方は、下記サイトをご覧くださいご検討下さいませ。

「JP1000」解説サイト

<http://www.neuralnet.co.jp/user/jp1000/index.html>